

補助事業番号 19-122

補助事業名 平成19年度 特殊金属の備蓄補助事業

補助事業者名 社団法人 特殊金属備蓄協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

特殊金属(以下レアメタルという)とは、地球上でも存在が極めて少量か、または抽出が経済的・物理的に非常に困難な金属元素の総称である。レアメタルは、それぞれの持つ多様な特性により機械産業、電子産業、素材産業等をはじめとする幅広い産業分野で利用されており、我が国の国民生活を支えている必要不可欠な基礎的な素材である。

しかしながら、我が国はその太宗を輸入に依存している。レアメタルはその用途の広さとは対照的に産出地域が一部の地域に限られているという偏在性や有限性を有し、かつ代替が困難である物資が多い。レアメタルは希少性が高く、その多くが政情不安定な国を含むごく限られた国・地域への偏在度が高い。例えば、クロム鉱石の世界生産国別シェアは南アフリカ(40.0%)、カザフスタン(18.0%)、インド(16.5%)で全体の74.5%を占め、タングステンは中国が全体の84.6%と一国に集中しており、バナジウムは南アフリカ(40.1%)、中国(28.0%)ロシア(30.1%)で全体の98.2%を占めている。

レアメタルのうち、特に重要なニッケル、クロム、タングステン、コバルト、モリブデン、マンガン、バナジウムの7鉱種の安定供給確保上の重大な障害に対処するとともに、その障害による供給上の混乱を回避するため、これらレアメタルを原材料とする製品の生産及び供給の確保に資することを目的として、製造産業及び生活関連産業の主要基礎資材として国民生活に不可欠な特殊金属の供給の安定を図るため特殊金属の備蓄を促進し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

平成19年度は、これらレアメタルのニッケル、クロム、タングステン、コバルト、モリブデン、マンガン、バナジウムの7鉱種について、企業の倉庫等に民間備蓄物資を1年間備蓄保管した。

2. 予想される事業実施効果

平成19年度には世界鉄鋼生産は中国の顕著な伸びが続き依然として増大傾向であり、13億トンを超えた。このため、レアメタルを含む資源獲得競争は激化しており、市況が高騰しているが、レアメタルを備蓄していることにより、機械工業をはじめとする我が国産業への安定的供給確保に対処でき、生産活動の維持、発展が可能となる。

3. 本事業により作成した印刷物等

なし。

4. 事業内容についての問い合わせ先（解散により平成20年5月まで）

団体名： 社団法人 特殊金属備蓄協会(トクシュキンゾクビチクキョウカイ)

住所： 103-0025

中央区日本橋茅場町三丁目2番10号 鉄鋼会館

代表者： 会長 高山 剛(タカヤマ ツヨシ)

担当部署： 業務部(ギョウムブ)

担当者名： 竹内 正智(タケウチ マサトシ)